

第38回全国小学生大会福島県予選大会 競技運営細則

1 競技規則

本大会は、2024年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則及びJクイックハンドボール（U12ゲーム様式）により実施する。2022年7月1日より施行された新競技規則については、「ゴールキーパーの頭部へボールが直撃した際の罰則」と「パッシブプレーの予告合図後のパス回数は最大4回」のルールを適用する。詳しくは、下記リンクの2024年度競技規則をご覧ください。また、服装についても記載がありますので、一度目を通していただくと幸いです。

https://handball.or.jp/rule/doc/2024competition_rule.pdf

2 競技時間・方法

- ① 1日目 予選リーグ・・・10分（前半）－5分（休憩）－10分（後半） 退場1分タイムアウトなしとする。
2日目 決勝トーナメント・・・15分（前半）－10分（休憩）－15分（後半）とする。
- ② 予選リーグは、同点の場合、延長戦を行わない。
2日目のトーナメントが同点の場合、3分（前半）－1分（休憩）－3分（後半）の第1延長を行い、更に同点の場合は、7mスローコンテスト（3名）を行う。
- ③ リーグ戦の順位決定は勝ち点制（勝2点・引き分け1点・負け0点）とし、勝ち点が同じ場合は、ア）対戦間の結果、イ）得失点差、ウ）総得点、エ）抽選により決定する。
- ④ 加算式のデジタルタイマーを使用する。退場については表示で行う。
- ⑤ 競技終了後の合図、チームタイムアウトはブザーとホイッスルで行う。
- ⑥ 退場者及び退場時間はオフィシャル席に表示する。入場の判断は、チームの責任による。
※今大会は、退場者タイマーを使用しない。
- ⑦ 男女優勝チームは第38回全国小学生ハンドボール大会への出場権を得る。

3 大会使用球

（公財）日本ハンドボール協会の検定球を使用する。空気圧は監督、審判員によって決定する。

4 トス・ユニフォームについて

- ① トス及びユニフォームの確認は、第1試合は試合開始30分前、第2試合以降は、前の試合の前半終了直後に、オフィシャル席前で行う。その試合に使用する全ての種類のユニフォームを持参すること。調整がつかない場合は、組合せ表の上段および左側を優先とし、下段および右側のチームが変更する。立ち合いは、選手、役員いずれでもよい。
- ② ユニフォーム・装具等については、2025JHA「服装や保護を目的とした装具に関する規定」を適用する。靴下については、同色とする。（長さの統一については問わない）パワーパンツについては、ユニホーム（短パン）の大部分を占めている色と同色であれば使用できる。ただし、黒色は例外として、ユニホーム（短パン）の色とは関係なく使用できる。アンダーシャツの色は、チームで統一された色でなければならない。
- ③ ビブスを着用する場合、登録された色、登録された番号でなければならない。
（穴あきビブスも可である）
- ④ 出血して血液がユニフォームに付着し、拭いきれない場合は、ユニフォームを交換しなければならない。その際、番号は異なってもかまわない。また、ユニフォームが破損した場合も同様の措置をとる。
- ⑤ チーム役員の服装の色が相手チームのコートプレイヤーのユニフォームの色とはっきり区別できる服装でなければならない。決定された相手チームのコートプレイヤーのユニフォームの色を確認し、重複しない上着を着用すること。色が重複している場合着替えなければならない。

5 登録証の提出及び返却、メンバーの確認

- ① 参加申込で決定したチーム役員、選手のみが競技に参加、出場することができる。
- ② ベンチには、チーム責任者1名含みチーム役員4名、選手20名の合計25名まで入ることができる。
- ③ **決勝トーナメントのみ登録証の提出を求める。（予選リーグはなし）**

- ④ チーム役員は、大会主催者が準備したA・B・C・D・Eの役員カードを着用し、試合終了後返却する。

6 公式記録用紙の確認

- ① チーム責任者は、試合開始前にチーム役員及び選手の氏名と背番号が正しく記入されているかを確認しサインする。
- ② 公式記録用紙に記入されている者だけが、交代地域に入ることができる。

7 交代地域

- ① 各チームのボールは、競技開始前にケースに収納し、競技開始後のボールの使用を禁止する。
- ② 飲料水は、飲み口の細い容器を使用すること。コップの使用は禁止する。なお、感染症防止の点から共用はご遠慮ください。

8 チームタイムアウトについて

予選リーグはチームタイムアウトの請求はできない。
決勝トーナメントにおいてチームタイムアウトの請求は、前後半1回ずつ可とする。チーム役員がチームタイムアウト請求カードを記録席の机の上に置くか、TDに手渡した時点でボール保持の状態により、チームタイムアウトが決定される。

9 休憩時間

- ① 休憩時間（ハーフタイム）のコートは、次のチームの練習に使用する。

10 松やに等の使用禁止

松やに、松ヤニスプレーの使用は一切認めない。両面テープの使用も認めない。
（全国大会では両面テープの使用が禁止されているため。）

11 MO（マッチバイザー）・TD（テクニカルデレグート）、裁定委員会

- ① 本大会ではMO・TDは配置しない。
- ② 本大会に裁定委員会を設置する。委員は理事長、競技委員長、審判長、当該試合審判員、その他とする。なお、必要に応じて関係者を同席させることがある。ブルーカードの提示による報告書が提出された場合、また、裁定しなければならない事案が生じた場合は、当日に裁定し、関係者に通知する。

12 負傷者による血液の処理

ゲーム中における出血の処理については、細心の注意を払わなければならない。従って、血液を拭き取るためのゴム手袋、雑巾等を特別に準備し対応すること。なお、拭き取り等は補助役員や生徒マネージャー等に行わせることなく、責任ある役員が行うものとする。また、血液が付着したユニフォーム等は使用することができない。背番号は変わることになっても、他のユニフォームに着替えなければならない。着替えは更衣室で行うこととする。

13 トレーナー席

交代地域外側にトレーナー席を設置する。トレーナーとは、代表者会議にて氏名を申請されたトレーナーを指す。トレーナーは基本的に交代地域、コート内に立ち入ることはできない。

14 試合における異議の申し立てについて

- ① 試合における参加資格違反、記録ミス等の試合の勝敗に関わるような重大問題への対応については、慎重かつ真摯に対応しなければならない。問題の処理や判断の資料としてチームの応援団等のビデオを証拠として採用することを可とする。異議申し立ては、試合終了後1時間以内にチーム責任者のみができる。さらに、チーム責任者は試合終了後2時間以内に、理由を示した文書を提出しなければならない。
- ② 審判の判定は最終的なものであり、異議の申し立ては受け付けられるものではない。

15 その他

- ① 次の試合の選手は、試合終了時に両チームの挨拶が終了するまでコート内への立ち入りを禁止する。ウォーミングアップは屋内2階ウォーミングアップエリア等で行う。
- ② 試合終了後の挨拶はコートに選手全員が整列し、正面及び記録席に一礼する。両チームすれちがいがいながら握手やハイタッチをする。

- ③ 選手及びチーム役員は、競技終了後速やかに会場から退出しなければならない。
- ④ 横断幕等は一般観覧者や応援者の視界を妨げる場所には張らないこととし、主催者側の指示を受けること。
- ⑤ 選手の体調管理については、各チームでしっかり行うこと。
- ⑥ 眼鏡を使用しての試合参加は不可とする。スポーツゴーグルを着用しての参加を可とする。
- ⑦ 選手は爪を切っておくこと。爪が長い選手は爪を切るまでは試合に出場できない。
- ⑧ 手首のミサंगा、手首のヘアゴム、髪留めのヘアピンの使用を認めない。